

# 被覆資材によるリンゴの日焼け対策技術

石川県農林総合研究センター  
農業試験場

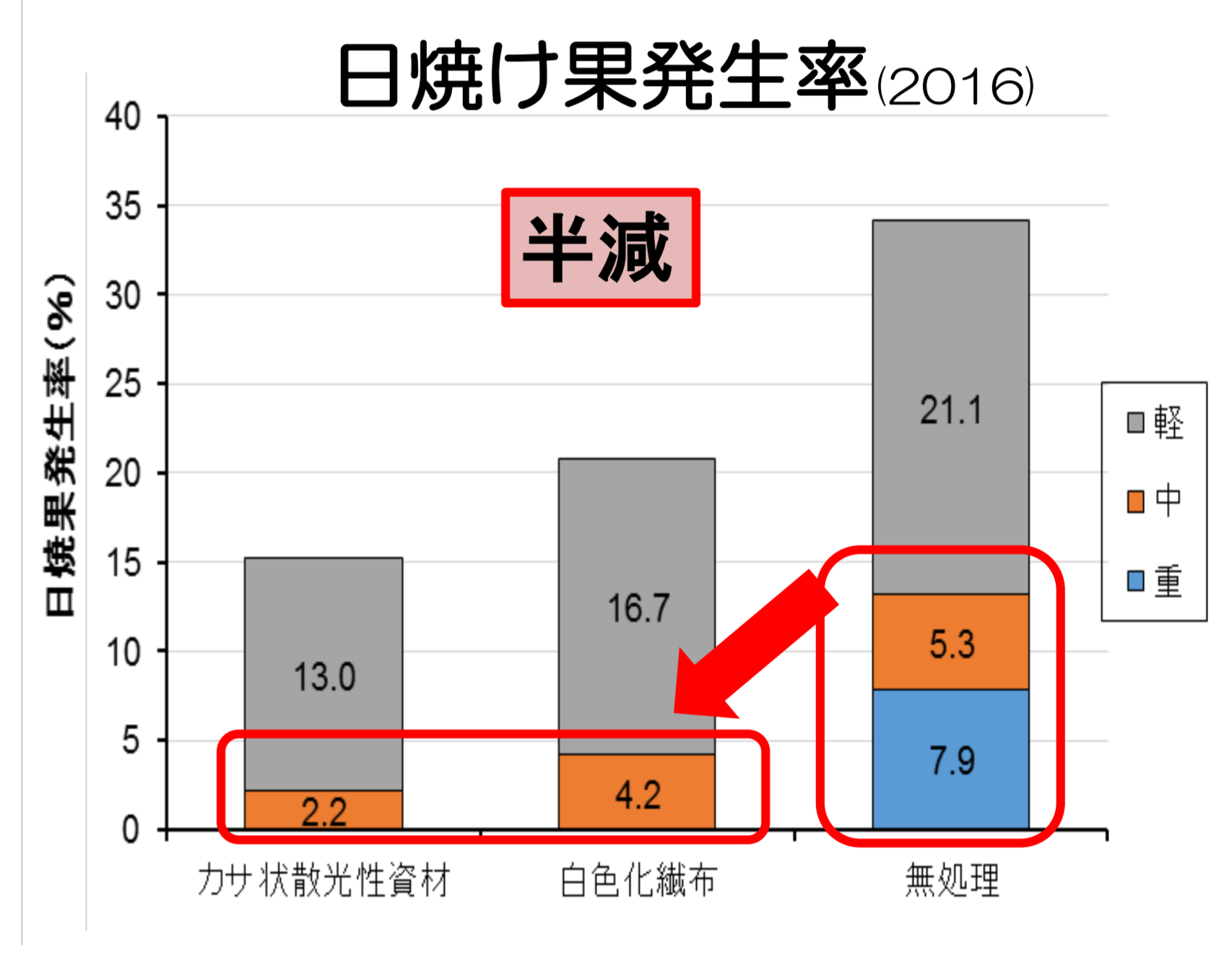
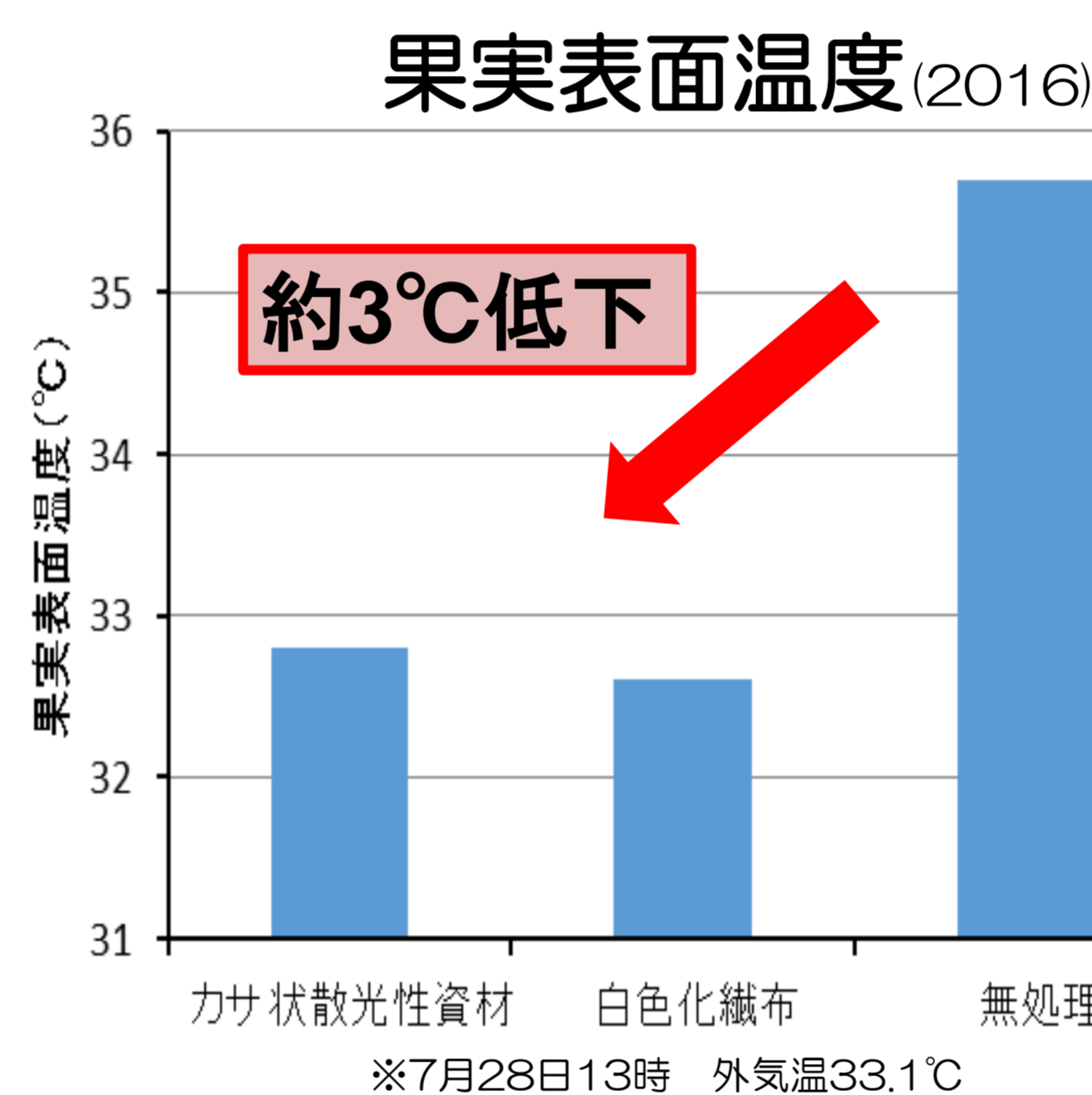
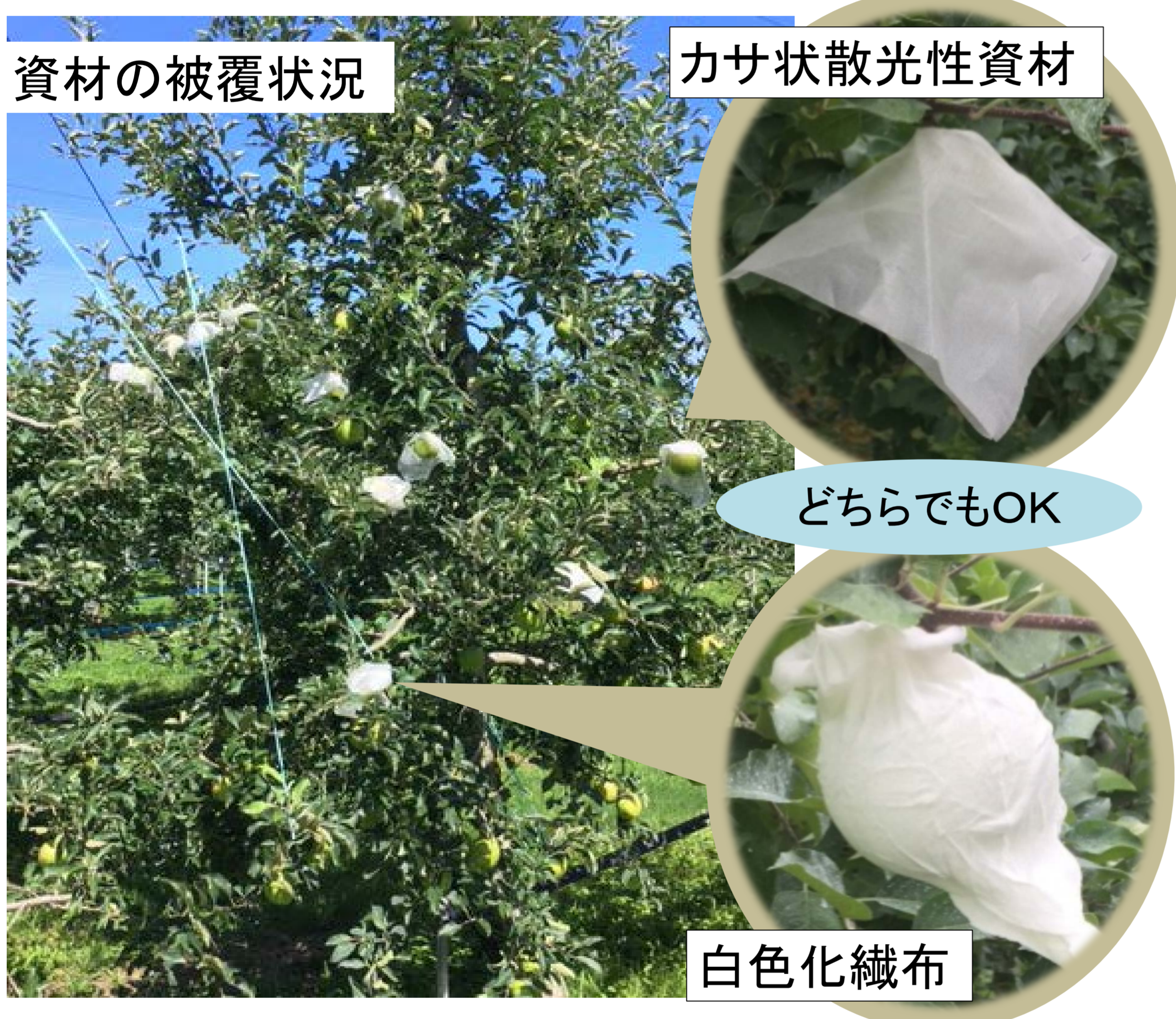


リンゴの日焼けは果実表面温度が極端に高くなることで発生するため、気候温暖化の進展に伴い、日焼け果の増加が懸念されます。そこで、資材被覆により温度を低下させ、日焼け果の発生を軽減する技術を開発しました。



リンゴの日焼け果(品種「秋星」)

## 1 果実への資材被覆は、果実表面温度を低下させ、日焼け果の発生を軽減する効果があります



資材の被覆は樹の南側半分に着果した、葉が少なく露出した果実のみ行います

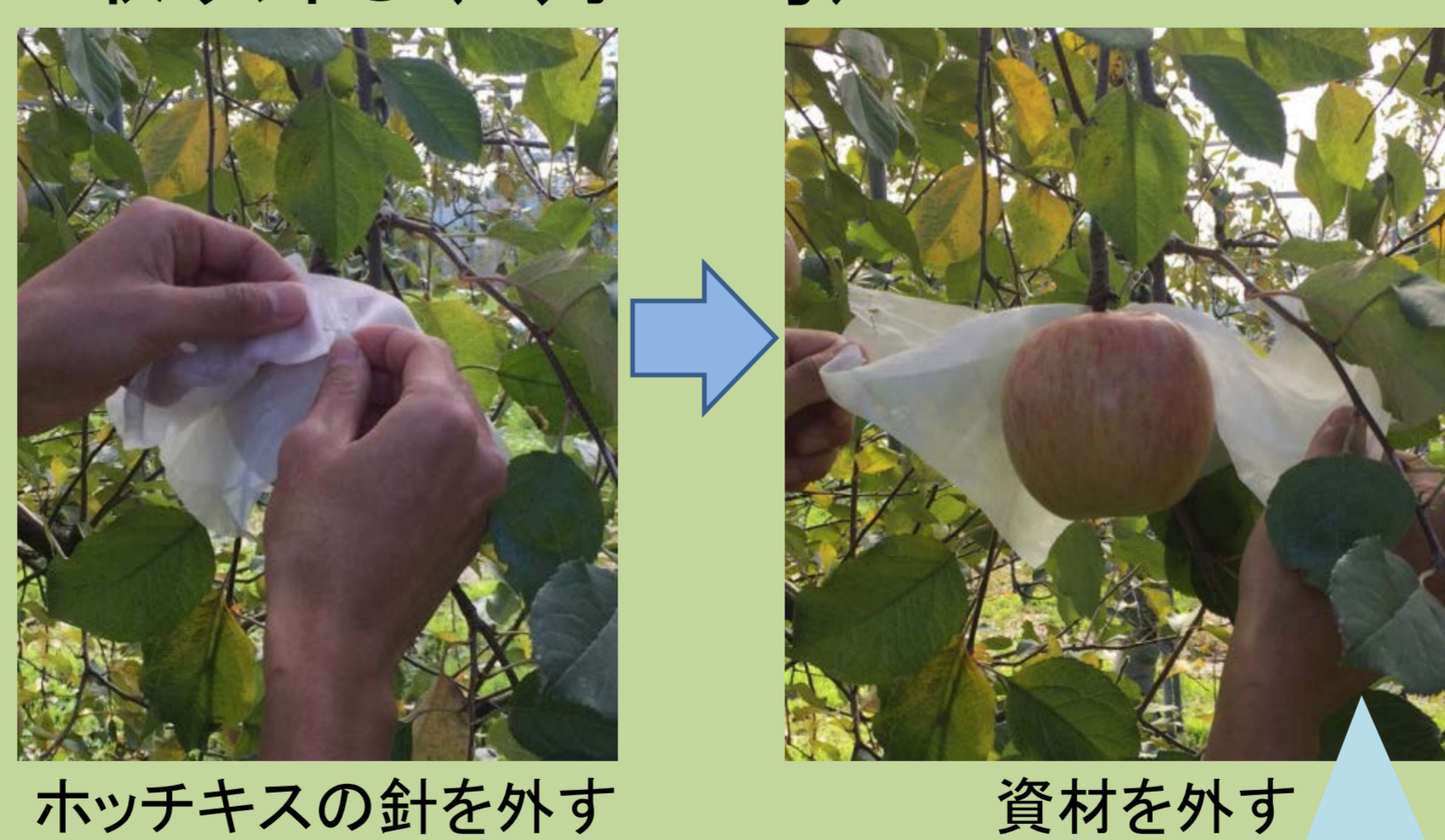
果実品質や着色には影響を与えません

## 2 使用方法・留意点

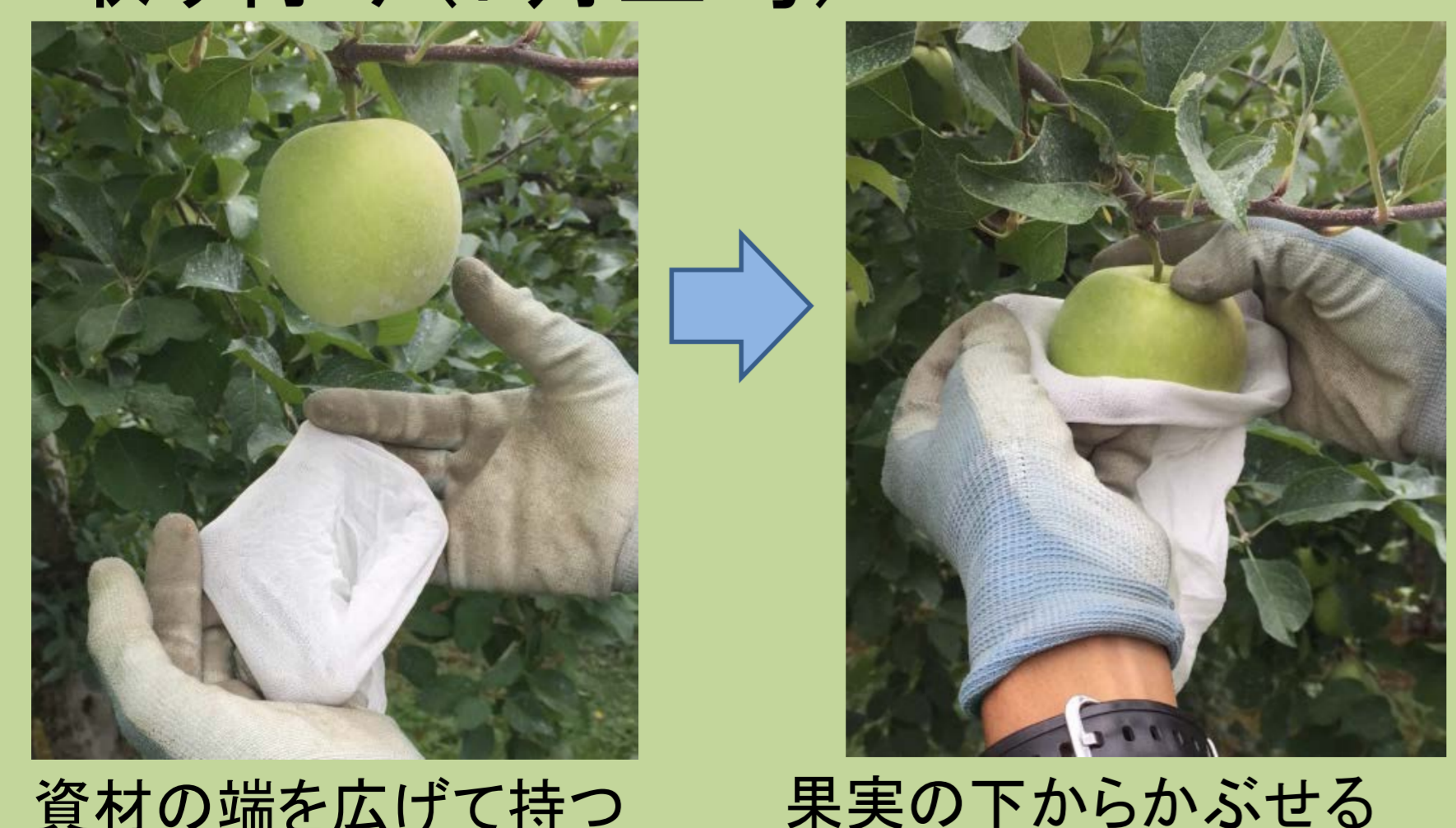
・取り付け(7月上旬)



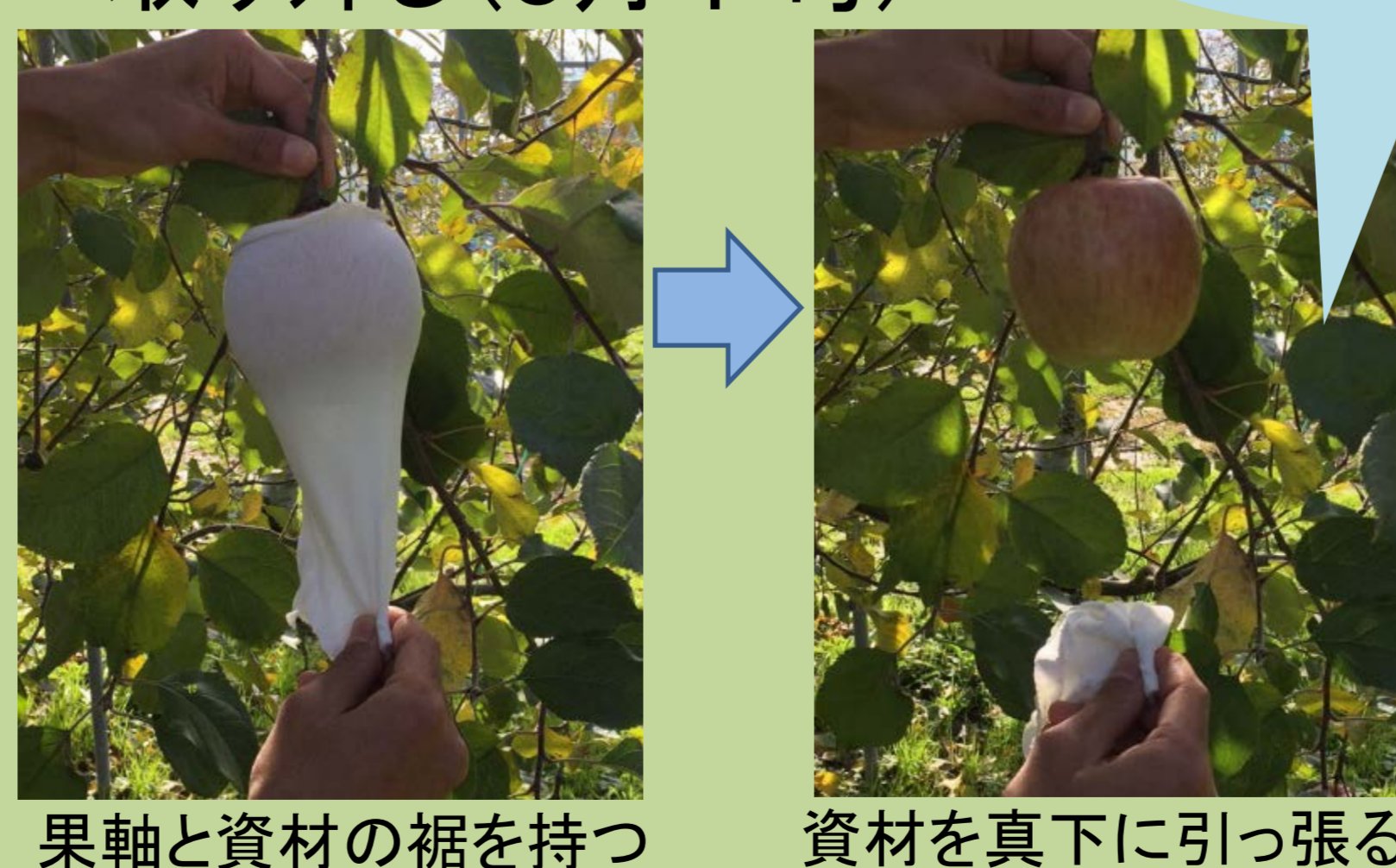
・取り外し(9月上旬)



・取り付け(7月上旬)



・取り外し(8月下旬)



留意点

- ・取り付けが遅れると、日焼け果が増加する恐れがあります
- ・取り外しが遅れると、被覆によるサビ等が増加する恐れがあります

### 普及・社会実装への道筋

- 「リンゴ果実への資材被覆による日焼け軽減対策技術マニュアル(仮称)」の作成、配布
- 所内の試験実施ほ場を活用した研修会の開催
- 試験研究成果発表会での発表 等